

JOA オリンピック・レクチャー114

揺らぐ国際秩序とオリンピック・ムーブメントの対応

—ロシア選手等の排除問題を中心に—

趣 旨：

ロシアによるウクライナ侵攻 1 年経過、パリ大会まで 1 年と少し、オリンピック・ムーブメントは内外で困難に直面している。国内では東京大会絡みの多くの不正疑惑が発覚し裁判が開始されたところであり、国民のオリンピックへの信頼に陰を落としている。一方、ウクライナ侵攻への IOC の対応をめぐる国際スポーツ界や各国政府の間に分断が深まり、パリ大会に向かうこれからの 1 年がオリンピック・ムーブメントの正念場である。

このレクチャーでは、新旧数多くの課題の中から政治・外交との向き合い方がどうあるべきかを取り上げ、特に現下の象徴的事例である国際競技大会からロシア選手等を排除すべきか否かの問題に焦点を当てたい。

「今、国際社会は歴史の転換期にある」と先月公表された外交青書 2023 年度版はその冒頭で述べているが、国際政治の世界では従来の常識が通じなくなりつつある。このトレンドと絡み合うオリンピック・ムーブメントにとっても、新たな脅威、特に人類の普遍的価値や平和が脅かされる非常事態に対し適切に対応することが、その生き残りと発展のために不可欠と考えられる。日本のスポーツ界も「自分の家をきれいにする」とともに、新時代のオリンピック価値の再定義のため、主体的な取り組みが求められる。

このレクチャーは時間の制約もあり問題意識と論点の提起のみとなるが、今後の JOA の活動を考えるうえで参考にして頂きたい。

講 師： 望月 敏夫 氏

日本オリンピック・アカデミー会長 日本パラスポーツ協会評議員
早稲田大学招聘研究員 元駐ギリシャ大使、東京大会招致担当大使

日 時：

2023 年 5 月 28 日（日） 13：00～13：45

会 場：

明治大学リバティタワー7階 1073 教室